

グリーン建築の家

090-8938-4016 : 0749-72-3908

グリーン建築で家を建てる！

仕上がってきました。昔なら当たり前の家ですが、ここ最近ではチョッと珍しくなってきた住宅です。と言うよりこの家の良さがだんだん忘れ去られてきたようです。荒壁と天然素材(専門用語で無垢材と言う)で出来た家は、落ち着いた癒しをかもし出し、一日ポケっとしても気分がいいですよ。

トイレの中を焼き板杉を張ってしまいました。
しかも黒か～

杉と桧のコラボ？

ここにTV置きます

煤竹のタオル掛けもいい感じでしょ！



棟梁の一言

日本には日本の家造り！ なにかおかしい住社会

親方が見習い(でっちぼうこう)の時代は当たり前だった家づくり、木と土と紙を使った木造在来構法で、現場は棟梁が家づくりの全責任を負い、さまざまな専門の職人たちを統一していました。木材は現場で大工が刻み、壁は左官が土をこねて塗り上げました。手間もかかりましたが、そこは職人たちの手仕事が活かされました。そして、少しずつ家が出来上がっていく様子を見ながら、施主も一緒に家づくりの思いを共有していました。それがこのわづか40年ほどの間に、ガタガタと崩れてしまいました。そこは職人の技術も要らなければ、棟梁の力量も住宅に携わる地域の業者も要りません。何かおかしい。化学物質過敏症、シックハウス症候群、アトピー、喘息(ぜんそく)、めまい、イライラ、倦怠感(倦怠感)…どうしたのか？ 脱ビニールクロス！ 脱ベニア！ 呼吸できる家づくりを目指します！



地松の牛木です。築185年の古民家から。 檜の浜縁で下駄箱付きですよ。 煤竹を洗ってます。これも立派な古材。

写真はすべて古民家から買取った物ばかり。まだまだ現役で使え、どの古材も生き返ります。潰して廃棄処分するのは簡単、何年も経った材木は強度も有り、何とも言えない味が出ます。先祖代々ある物を新築の家に使ってもらい喜んでいきます。と笑顔で言ってもらえた時は、苦勞して収めた事も忘れてしまう。やっぱりいい物はいい！古材バンザイ！！

古民家の買取解体始めました。 買取解体って何ですか？

築50年以上の家(古民家)には、良質の古材が使われています。やも得ず解体工事を考えておられる施主様、古材を生かしたりホーム(再築と言う)を考えておられたら、**古材鑑定士**の大森にご相談ください。古材の買取りや古材としての価値を鑑定をします。ご連絡を待っています。

090-8938-4016 : 050-3786-3179 まで